

# 新潟市青山斎場 施設概要

令和3年8月

新 潟 市

## 目 次

1. 施設の概要	.....	1
2. 事業費及び財源	.....	2
3. 施設の特徴	.....	2
4. 新火葬場建設に至った経過	.....	3
5. 建設までの沿革	.....	3
6. 施設管理運営等の状況	.....	4
7. 火葬利用状況等	.....	5・6
8. 業務状況等	.....	7
9. 火葬炉の概要	.....	8
10. 平面図	.....	10

1. 施設の概要

施設 の 名 称		新潟市青山斎場		
施設 の 所 在 地		新潟市西区青山 1436 番地 1209 〒950-2002		
電話・ファックス		TEL. 025-266-2370 FAX. 025-266-2373		
管 理 ・ 所 管		新潟市 ・ 保健所 環境衛生課 指定管理者 ・ 施設工業・新潟斎場サービス共同企業体		
供 用 開 始 日		平成7年7月11日		
用 地 の 概 要		敷地面積 42,437.58 m <sup>2</sup> 建物敷地面積 8,678.59 m <sup>2</sup> 建築面積 4,862.92 m <sup>2</sup>		
建 物 の 内 容	建物延床面積		5,115.80 m <sup>2</sup> (1階 4,275.55 m <sup>2</sup> 2階 840.25 m <sup>2</sup> )	
	構 造		鉄筋コンクリート造 平屋建 (一部2階 新耐震基準の設計)	
	火 葬 場	火葬部分の 施設	・ エントランスホール	1 (≒385 m <sup>2</sup> )
			・ 告別室	4 (≒ 61 m <sup>2</sup> ~73 m <sup>2</sup> )
			・ 炉前ホール	1 (≒344 m <sup>2</sup> )
			・ 収骨ホール	1 (≒ 88 m <sup>2</sup> )
			・ 収骨室	4 (≒ 31 m <sup>2</sup> ~33 m <sup>2</sup> )
			・ 霊安室	1 (≒ 19 m <sup>2</sup> )
			・ その他	炉室, 監視室, 機械電気室等
		待合部分の 施設	・ 待合ラウンジ	1 (≒322 m <sup>2</sup> )
	・ 待合室		7 (和室 12 畳 6 室, 洋室≒31 m <sup>2</sup> 1 室)	
	・ インナーガーデン		2 (合計≒350 m <sup>2</sup> )	
	・ 売店		1 (≒ 15 m <sup>2</sup> )	
		・ その他	トイレ, 空調機械室等	
	管理部分の 施設	・ 事務室	1 (≒ 63 m <sup>2</sup> )	
		・ その他	会議室, 業務職員控室等	
	合計面積		4,514.83 m <sup>2</sup>	
式 場	式 場	・ 式場	1 (和室 90 畳≒165 m <sup>2</sup> )	
		・ ロビー	1 (≒206 m <sup>2</sup> )	
		・ 遺族等控室	3 (≒14 m <sup>2</sup> , ≒36 m <sup>2</sup> , ≒22 m <sup>2</sup> )	
		・ その他	倉庫, 物入, トイレ等	
	合計面積		600.97 m <sup>2</sup>	
外 構 の 整 備	駐 車 場		・ 場内駐車場 乗用車 36 台 車寄せ マイクロバス等 4 台	
	植 栽	・ 建物外周部	建物外周部約 7,640 m <sup>2</sup> に, クロマツ, サツキツツジ, マルバシヤリンバイ, サンゴジュの生け垣等, 高低木を合わせて約 5,700 本を植栽。	
		・ 建物屋上	約 3,100 m <sup>2</sup> の屋上に, ハマヒサカキを 3,000 本, マルバシヤリンバイを 820 本, タマリユウを 100,000 本, リユウノヒゲを 30,000 本等を植栽。	

## 2. 事業費及び財源

### (1) 事業費

単位：千円

事業内容	事業費	合計
主体工事費	2,335,322	
建築主体工事	632,023	
建築炉設備	343,990	3,311,335
衛生・ガス・電気設備		
付帯工事	110,000	
特殊基礎工事	378,767	
空気調和設備	192,900	681,667
その他		
設計監理等委託料	253,380	
設計・監理委託料	40,241	293,621
測量・環境調査等		
門、塀及び造園工事費	158,754	
植栽・外回り造園工事	130,000	
擁壁工事	101,212	389,966
その他		
用地費	804,195	804,195
用地取得費		
初度調弁費	64,247	64,247
事務費等	39,942	39,942
合計		5,584,973

(2) 財源	起債	922,900千円
	一般財源	3,162,073
	その他(都市整備基金)	1,500,000
	計	5,584,973

### 3. 施設の特徴

建設地は旧施設から 100m 程海岸よりの防風保安林の一面で、厳しい自然環境と開発面積の制約の中、青松に囲まれた緑豊かな周辺環境を生かし、これまでの火葬場のイメージを一新し、厳粛な中にも明るい近代的な施設づくりに心掛けた。

#### (1) 周辺環境との調和への配慮

海岸景観との調和から外壁に砂浜を連想させる色づかいにより柔らかさと親しみやすさを表現し、建物の高さを抑え半地階構造とし、屋上に植栽を施すとともに、冬季季節風を遮断するため回りに築いた土塁に松を中心とした常緑植栽を施すなど、周辺環境との調和や保全に配慮した。

#### (2) 会葬者の心情への配慮

葬送行事の流れや風習に準拠し各部屋の機能的な配置や設計に配慮するとともに、大理石や花崗岩等の自然素材を多用し、トップライトからの自然光を各所に取り入れた。また、和風庭園や要所に美術品を配置するなど、傷心の会葬者の心情に配慮し、荘厳な中にも故人を偲ぶにふさわしい、うるおいと安らぎを与える施設づくりに努めた。

#### (3) 公害への配慮

炉の位置を住宅地からできるだけ離して緩衝緑地帯を設け、また火葬炉を三次燃焼方式にし、無煙、無臭、無じん化を図り、燃料に都市ガスを採用するなど、公害のない最新技術の粋を結集した設備を採用した。

#### 4. 新火葬場建設に至った経過

新潟市は、信濃川、阿賀野川の大河や日本海の自然に恵まれ、古くから港を核に商業都市として栄えてきた。

近年は、東・西の港湾に加え、上越新幹線、関越・北陸・磐越の高速自動車道や新潟空港を生かした環日本海の中核拠点都市として、21世紀の更なる飛躍に向け都市基盤整備や国際交流等に積極的に取り組んでいる。

こうした中であって新火葬場（青山斎場）は、市の都市基盤整備の一環として、青山火葬場（昭和4年開設）が老朽化し、建物・敷地が狭あいをかたしていたうえ、人口増加に伴う炉数不足（6基）や宅地化の進展と周辺環境の変化と相まって周辺住民の移転要望もあって計画された。

しかし、建設にあたっては周辺住民の反対運動で2年余にわたり意見調整が行われた。最終的には①敷地を住宅地から100m離す。②その周囲に幅15m高さ3m程度の盛り土をしてマツなどの常緑樹を植える。③建物の高さを最高12mにすることなどで合意し、平成7年7月に移転新築し、開設したものである。

#### 5. 建設までの沿革

年 月	経 過
昭和 60 年 3 月	第三次総合計画に火葬場整備が盛り込まれる。(S60~H7年)
昭和 63 年 12 月	地元団体（青山斎場を考える会）が、市・議会に早期全面改築の請願（議会は請願を採択）
平成 2 年 1 月	基本設計発注
平成 2 年 3 月	新火葬場整備の継続費決定
平成 2 年 7 月～ 平成 4 年 10 月	計画第 1 案から第 4 案までを地元説明及び意見調整
平成 4 年 7 月	環境影響調査委託
平成 4 年 8 月	植生分布調査委託
平成 4 年 11 月	用地測量委託
平成 5 年 4 月	基本（変更）・実施設計委託
平成 5 年 6 月	都市計画決定
平成 6 年 1 月	建設工事着手
平成 7 年 6 月	建設工事完成
平成 7 年 7 月	供用開始

6. 施設管理運営等の状況

- (1) 休 場 日 1月1日
- (2) 利 用 時 間 ・火葬場 午前9時から午後5時15分  
 ・式 場 通 夜 午後4時から翌日午前9時  
 告別式 午前9時から午後3時  
 通夜及び告別式 午後4時から翌日午後3時
- (3) 火葬・式場予約 ・青山斎場 午前8時45分から午後5時  
 ・新潟市総合保険医療センター警備室（保健所警備室）  
 午後5時15分から午前8時30分
- (4) 火葬場利用申請 区役所 窓口サービス課・区民生活課， 出張所
- (5) 式場利用申請 青山斎場
- (6) 職員体制

事務室	・場長1人 ・事務長1人 ・事務員1人
職 員	・炉前，収骨業務 5人，パート2名 計7名 ・火葬等業務 4人
業務委託	・待合室業務 ・清掃業務 ・設備運転管理業務

(7) 使 用 料

区 分		単位	市内居住者	市外居住者
火 葬 場	1 2 歳 以 上	1体	無 料	28,000円
	1 2 歳 未 満	1体	無 料	14,000円
	死 産 児	1体	無 料	9,300円
	身 体 の 一 部	1箱	2,500円	5,000円
式 場	通 夜	1回	16,500円	28,000円
	告 別 式	1回	16,500円	28,000円
	通夜から告別式	1回	33,000円	56,000円

(8) 1日の火葬件数

9時～15時までの1時間毎に4体で，1日最大28体  
 災害時等の1日最大火葬件数 4体×12時間 = 48体

(9) 火葬情報等の処理方法

火葬情報データベースシステムで，火葬予約受付票，会葬者部屋割表，火葬簿，火葬集計表等をパソコン処理している。

(10) テレビモニター監視システム

告別室（4台），炉前ホール（4台），収骨室（4台），駐車場（1台），式場（1台）にカメラを設置し，事務室，炉室監視室，炉前控室，売店のモニターで進行状況を把握している。

## 7. 火葬利用状況

### (1) 火葬利用状況

#### 年度別火葬件数

項目 年度	合 計			12 歳以上		12 歳未満		死産児	
	計	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
平成 28 年度	5,402	5,248	154	5,143	143	10	1	95	10
平成 29 年度	5,513	5,334	179	5,256	164	8	0	70	15
平成 30 年度	5,749	5,558	191	5,450	178	11	3	97	10
令和元年度	5,699	5,543	156	5,460	147	11	0	72	9
令和 2 年度	5,688	5,540	148	5,472	141	7	0	61	7

### (2) 月別、性別火葬件数（令和 2 年度）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
男	259	220	218	196	243	213	213	270	287	277	238	254	2,888
献体	(2)					(3)			(1)	(3)	(2)	(19)	(30)
女	241	219	177	205	217	205	233	262	264	231	261	257	2,772
献体	(3)					(7)			(3)	(3)	(12)	(10)	(38)
不詳	4	1	2	3	2	3	0	4	1	5	0	3	28
計	504	440	397	404	462	421	446	536	552	513	499	514	5,688
献体	(5)					(10)			(4)	(6)	(14)	(29)	(68)

### (3) 六曜別火葬件数（令和 2 年度）

	赤 口	先 勝	友 引	先 負	仏 滅	大 安	合 計
件数	962	1,115	512	1,191	979	929	5,688
%	16.9	19.6	9.0	20.9	17.2	16.3	100

### (4) 出棺時刻別火葬件数（令和 2 年度）

	9 時	10 時	11 時	12 時	1 時	2 時	3 時	5 時※	合 計
件数	335	820	1,306	913	955	686	668	5	5,688
%	5.9	14.4	23.0	16.1	16.7	12.1	11.7	0.1	100

※新型コロナウイルス感染症対応による時間外火葬

## (5) 出棺場所別火葬件数

場所別 年度	葬儀会館		自宅		寺院・教会		その他		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成 28 年度	4,969	92	171	3.2	22	0.4	240	4.4	5,402	100
平成 29 年度	5,066	91.9	166	3.0	31	0.6	250	4.5	5,513	100
平成 30 年度	5,233	91	187	3.3	27	0.5	302	5.2	5,749	100
令和元年度	5,266	91.7	175	3.1	25	0.4	273	4.8	5,699	100
令和 2 年度	5,180	91.1	238	4.2	21	0.4	249	4.4	5,688	100

## (6) 会葬者の来場状況（令和 2 年度）

	告別室	待合室	収骨室
利用者数	48,474	19,682	21,356

## (7) 青山斎場の式場利用状況

	市内居住者	市外居住者	合計
平成 30 年度	76	2	78
令和元年度	58	0	58
令和 2 年度	21	1	22

## (8) 12歳以上，12歳未満，死産児 利用人数（令和 2 年度）

区	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	市外	合計
12歳以上	282	1,398	1,760	263	42	62	1,634	31	141	5,613
12歳未満	0	1	3	1	0	0	2	0	0	7
死産児	3	11	14	8	4	0	19	2	7	68



## 8. 業務状況等

### (1) 指定管理者による業務の状況

- ①事務管理…斎場利用許可書・死体埋火葬許可証の確認及び入力，火葬終了の認証  
火葬申し込みの受付。全体の流れの確認。
- ②炉前…柩受け取り，告別室でのお別れ，火葬炉への納棺，火葬後の収骨案内と  
収骨の介添，収骨後の台車清掃と焼却炉への返却
- ③火葬…遺体の火葬及び整骨，火葬炉設備の運転及び日常点検並びに破損等の応急処置
- ④待合室…待合室に湯茶のセット，待合室への案内と施設利用説明，飲みもの等の  
接待，待合室の整理整頓
- ⑤清掃管理…常駐1人，日常清掃，特別清掃
- ⑥設備運転管理…常駐1人，設備全般管理
- ⑦火葬炉設備保守点検管理…定期点検 年1回，集塵機フィルター清掃 年4回，  
火葬炉セラミックス修理 年3回
- ⑧警備…巡回警備（年間），式場使用時に夜間常駐警備
- ⑨樹木管理…除草，剪定，防虫，補植，支柱交換等，年間管理
- ⑩空調設備機器保守点検…定期点検 年4回
- ⑪自動ドア保守点検…定期点検 年3回（自動ドア33台，電動トップライト14台）
- ⑫自家用電気工作物保安管理…月次，年次，臨時点検
- ⑬消防用設備保守点検…総合点検，外観機能点検 各1回
- ⑭雨水污水排水管清掃…管内清掃 年1回
- ⑮駐車場土砂清掃…吸引清掃 年1回
- ⑯外壁洗浄清掃…建物北西部の外壁清掃 年1回
- ⑰ディーゼル発電設備保守点検…発電機の点検 年1回
- ⑱排ガス及び集じん灰濃度測定…ダイオキシン類の濃度測定 年1回
- ⑲建築物定期点検…2年に1回

### (2) 年間の光熱水費（令和2年度実績）

	ガス料火葬用	ガス料その他	電気料	水道料	下水道料
量	166,006 m <sup>3</sup>	49,944 m <sup>3</sup>	410,402KWh	3,293 m <sup>3</sup>	2,666 m <sup>3</sup>
金額	13,126 千円	3,949 千円	9,781 千円	668 千円	630 千円

### (3) 副葬品の制限

柩の中に危険物等はいれないよう，チラシを葬儀業者を通じ遺族に配布する等，協力をお願いしている。

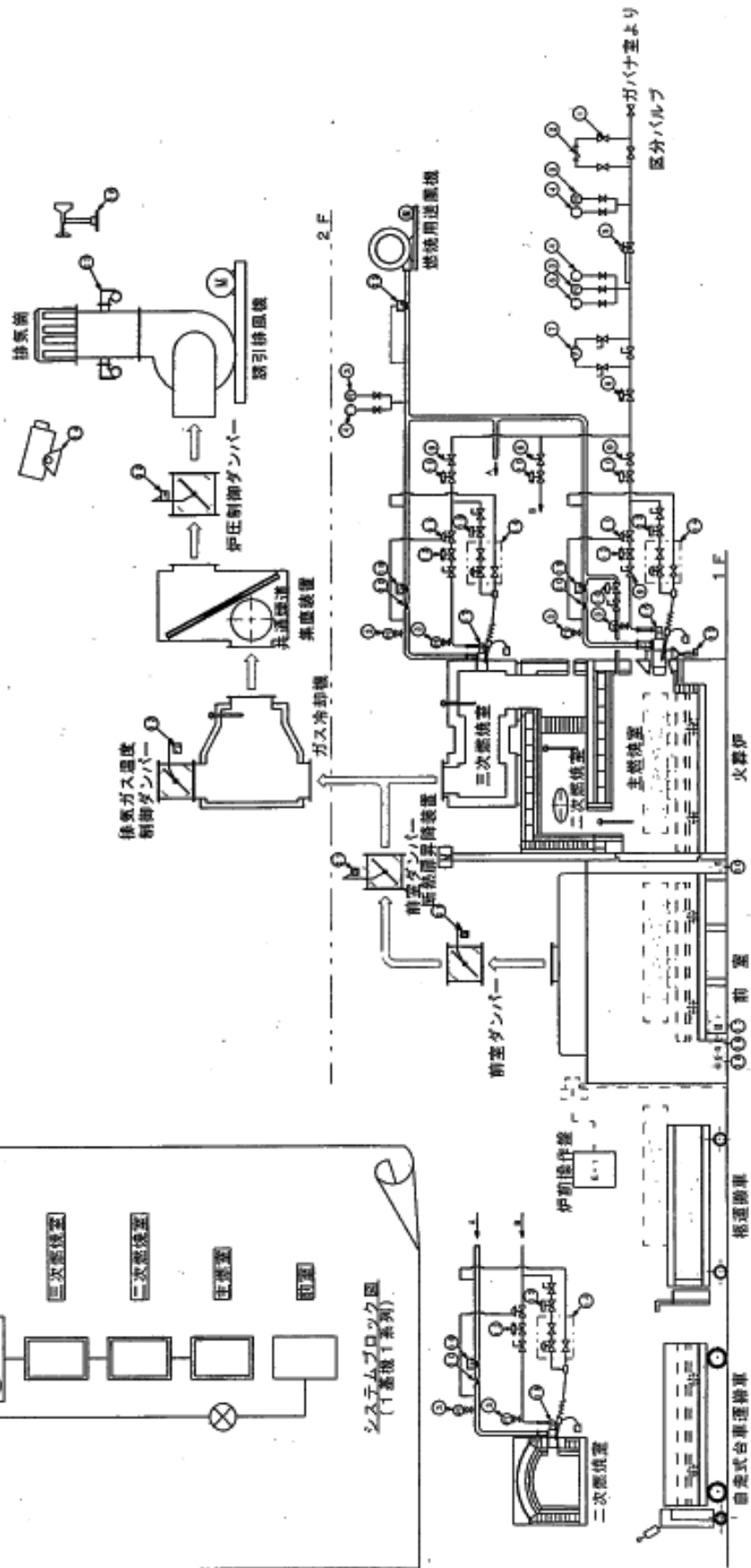
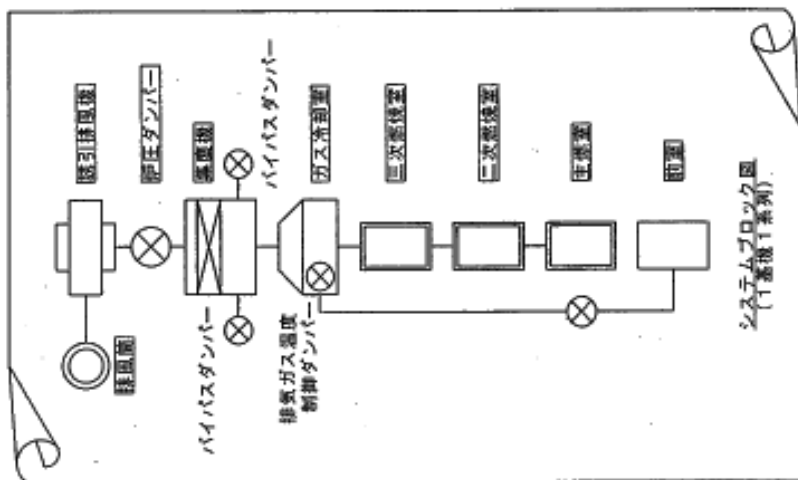
## 9. 火葬炉の概要

火 葬 炉 数	火葬炉 12 基	汚物炉 1 基
形 式	前室付台車式	
火 葬 時 間	火葬 60 分	冷却 10 分
燃 料	都市ガス 13A 1 体当たりの消費量 45 m <sup>3</sup> 緊急時の代替燃料として灯油バーナーユニット 1 台	
温 度	主燃焼室 1,100～1,200℃	二次・三次燃焼室 850℃ ガス冷却後 250℃以下
排ガス冷却方式	空気混合式	
集 塵 機	ステンレスメッシュデミスタスクリーン	
排 気 方 式	誘引排風機による強制排気	
設 置 メ ー カ ー	富士建設工業・施設工業経常企業体	

### \* 火葬炉設備の特徴

- ・ 火葬炉本体を全て大型炉にし、炉壁にセラミック 50mm の 2 層貼り構造のセラミック炉を採用し、燃費の向上と公害基準値の低減を図った。
- ・ 二次再燃焼炉，三次再燃焼炉の無煙・無臭方式を採用，また燃料に都市ガスを採用することで，大規模な集塵機を設置しなくとも公害規制基準を充分クリアすることができた。
- ・ 火葬炉設備の一連の作業をコンピューターによる全自動化を採用することにより作業能率の向上を図った。
- ・ 炉前ホールと炉室の壁を 2 層にしたり，各所に防音施工することで，炉前ホールの騒音値の低減化を図ると共に，低騒音機器を採用し，騒音値の低減化を図った。
- ・ 前室冷却空気を屋外から直接外気を取り入れることにより，冷却時間の短縮を図った。
- ・ 押込送風機と誘引排風機による強制排気方式の採用により，炉内圧の安定を図り，排気筒は建物の外観から見えないよう配慮した。

# 火葬フローシート



10. 平面图

